



新宿区

『新宿力』で創造する
やすらぎとにぎわいのまち新宿

平成30年第1回区議会定例会
新宿区長定例記者会見資料
平成30年2月9日(金)

事業名	地域協働学校の充実	予算(案)の概要	76 ページ
予算額	24,477千円 (拡充) (前年度予算額 24,075千円)		
取材先	教育委員会事務局教育支援課長 高橋(電話 03-3232-1051)		

1 事業概要

地域協働学校は、地域住民や保護者が学校運営に参画することで、地域に信頼され地域に支えられる開かれた学校づくりを推進するためのしくみで、新宿版のコミュニティスクールです。

学校と地域とが連携・協働して子どもたちの豊かな学びの環境をつくとともに、チームとして子どもたちの成長にかかわり、開かれた学校づくりをさらに推進していきます。

◆ 地域協働学校各校の取組み ◆

各校の地域協働学校運営協議会は、地域住民や保護者などからなる委員が校長の定める学校経営方針について話し合い、意見を述べるほか、学校の運営状況の評価をするなど、学校運営に積極的に参画する場となっています。

また、地域協働学校運営協議会での協議をもとに、それぞれの学校の特色や地域性を活かした学校支援活動が行われています。

■ 学校支援活動の例 ■



【授業への支援】
地域の方の支援による
総合的な学習の時間の様子



【課外活動への支援】
朝のあいさつ運動



【地域とともに行う活動】
地域防災訓練へ中学生が
参加

2 平成30年度からの新たな取組み

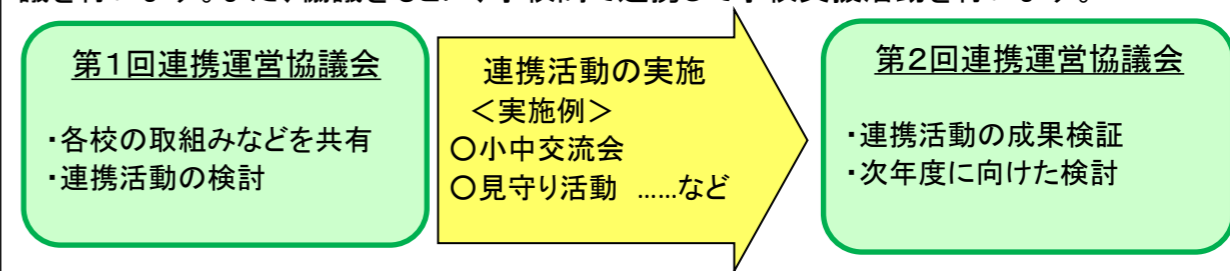
小中連携型地域協働学校 (予算 252千円)

■実施概要■

モデル地区として1地区を選定し、地区内にある小・中学校3~4校の学校運営協議会の連携を図ります。9年間をとおして、地域ぐるみで子どもの一貫した成長を支えるとともに、地域の方々と子どもたちの顔の見える関係づくりを強化し、今後の地域を担う人材の育成につなげます。

■実施のイメージ■

年2回程度、各校の学校運営協議会から代表者等が集まり連携運営協議会を開催し、協議を行います。また、協議をもとに、学校間で連携して学校支援活動を行います。



小～中学校の9年間、地域ぐるみで子どもたちの一貫した成長を支援します！

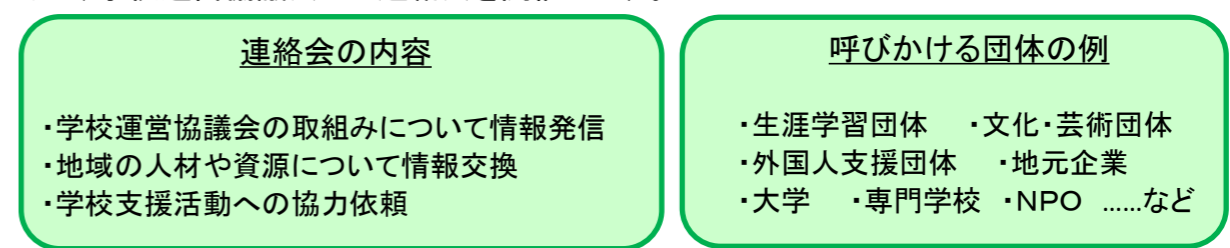
学校運営協議会と地域との連絡会 (予算 146千円)

■実施概要■

モデル地区として1地区を選定し、地区内の小・中学校と地域の団体や企業等が集まり、学校支援活動に関する情報発信や情報共有を行うことで、地域の資源を発掘・活用し、活動のさらなる広がりや担い手の確保に取り組みます。

■実施イメージ■

年2回程度、学校運営協議会に参加する機会がなかった地域の団体や企業等へ呼びかけて、学校運営協議会との連絡会を開催します。



地域が一体となって子どもたちを育む環境づくりを推進します！